

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約2.2 億円
		通常砂防事業 おおえのき 大榎川		内用地補償費	約0.1 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
宍粟郡 波賀町 ^{うえの} 上野			16年度	16年度	19年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、堰堤工を設置して地域住民の人命、財産及び国道429号を保全する。	・砂防堰堤工 2基 (H = 12.0m , L = 54.0m) (H = 8.0m , L = 27.0m)

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全、安心	・大榎川は土石流危険渓流である。 ・渓岸の浸食が進み流域内も荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・保全対象: 人家 = 6戸、公共施設 = 国道429号、町道、簡易水道配水池、田畑 = 0.62ha
地域の活性化	・砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、下流域の有効な土地利用が図れるようになる。
快適性・ゆとり	・堰堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。
その他	・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 ・山村振興指定地域及び過疎対策法対象町に該当し、砂防堰堤工の整備により条件不利地域の安全性向上に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産（人家6戸）に加え、地域の主要幹線道路である国道429号、上野地区の人々に利用されている簡易水道の配水池が保全されるため、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	・町等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・人家等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	・土石流の想定被害区域には人家6戸、国道429号、町道、簡易水道配水池がある。 ・流域状況は急峻な地形、脆弱な地質と相まって荒廃が進み、土砂流出の危険性が高く、上野地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。